

やさいレポート（令和7年 11月号）



にんじん



発行日：令和7年 11月 10日

1. 卸売価格の動向

○202 円/kg (11月6日)

➢ 平年比：155%

○11月の価格見通し

やや平年を上回って推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○412 円/kg

(10月10日全国平均)

➢ 前月比：87%、平年比：104%

➢ 東京：203 円 (3本)

➢ 大阪：211 円 (3本)

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：7/20 (前月 8/20)

➢ 大阪：2/10 (前月 5/10)
(機構調べ)

3. 家計消費動向

○198g/人 (9月全国平均)

➢ 前月比：111%

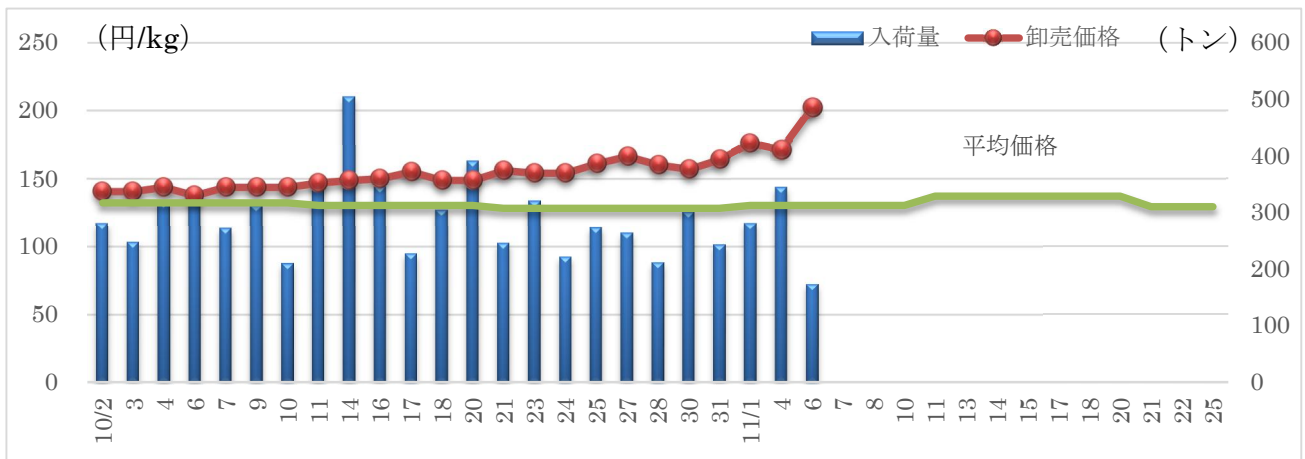
➢ 前年同月比：97%

○2,556g/人 (2024 年年間)

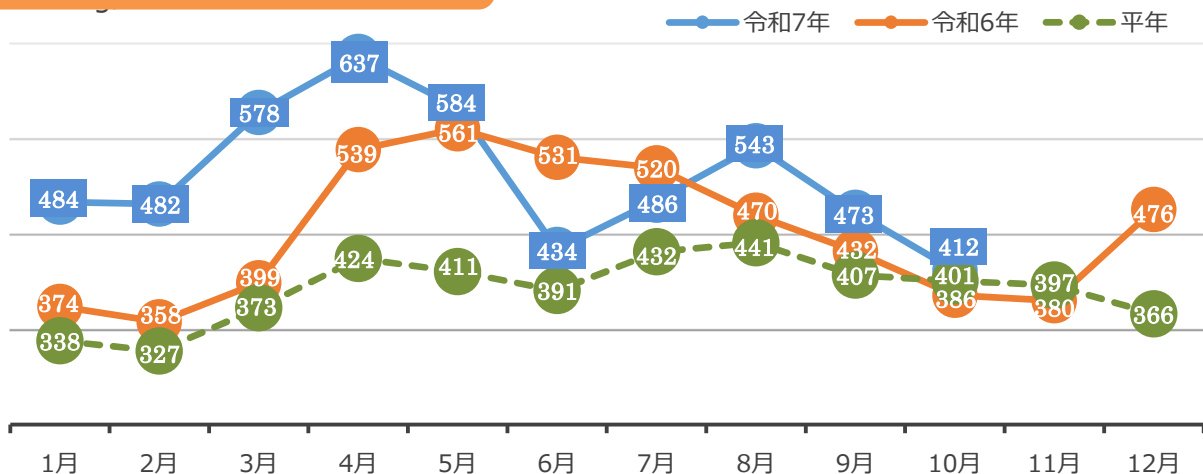
➢ 前年比：97%

(総務省統計局家計調査)

4. にんじんの入荷量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



5. にんじんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道富良野 (8/25)	増加	平年並み	平年並み	平年並み
青森県三沢 (7/23)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み
茨城県鹿嶋 (10/17)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
愛知県碧南 (9/25)	減少	平年並み	遅い	—
徳島県吉野川流域 (4/22)	減少	平年並み	平年並み	早い

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



茨城県鹿嶋：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (11/8~12/5)

週別の天候				
11/8~11/14	北日本日本海側では、寒気の影響で、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。			
	北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
11/15~11/21	東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
	西日本太平洋側では、天気は数日の間隔で変わりますが、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
11/22~12/5	沖縄・奄美では、湿った空気の影響により、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。			
	北日本日本海側では、寒気の影響を受けにくく、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。			
11/8~11/14	北・東日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。			
	東・西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
11/15~11/21	西日本太平洋側では、天気は数日の間隔で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。			
	沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
11/22~12/5	北日本日本海側では、寒気の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。			
	北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
11/8~11/14	東・西日本日本海側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。			
	東日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。			
11/15~11/21	西日本太平洋側では、天気は数日の間隔で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。			
	沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低30 並40 高30%	少40 並40 多20%	少20 並40 多40%
	太平洋側	低30 並40 高30%	少40 並40 多20%	少20 並40 多40%
東日本	日本海側	低20 並40 高40%	少50 並30 多20%	少10 並30 多60%
	太平洋側	低20 並40 高40%	少40 並40 多20%	少20 並30 多50%
西日本	日本海側	低20 並30 高50%	少50 並30 多20%	少10 並30 多60%
	太平洋側	低20 並30 高50%	少40 並40 多20%	少20 並30 多50%

(気象庁1か月予報)

8. 輸入動向 (生鮮にんじん)

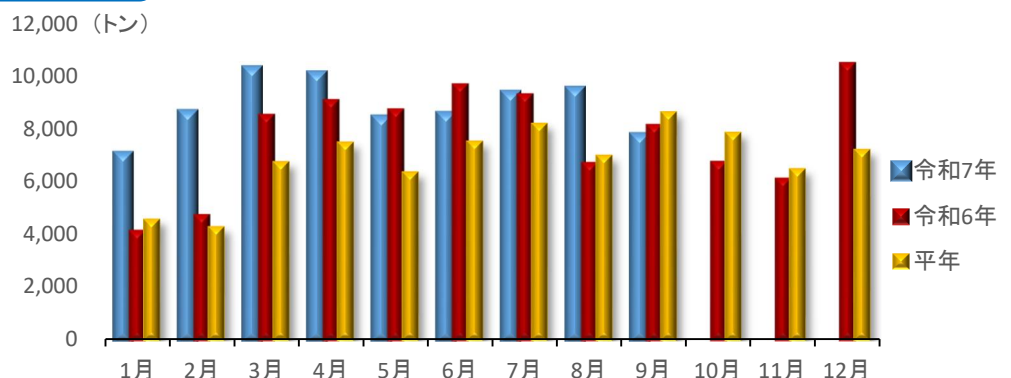
○7,743トン (9月輸入量)

➤ 前年同月比：95%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 7,483トン
- 2位 豪州 246トン
- 3位 米国 11トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

10月は北海道産が切り上がりとなるなか、後続の千葉産が遅れ気味で端境となって、中下旬は高値となった。

11月は、北海道産が終了する一方で後続の千葉産が生育遅れのため、出荷数量はやや平年を下回り、価格はやや平年を上回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793